

尼崎パーキングエリア ～160mの縁側～

納谷建築設計事務所（株）

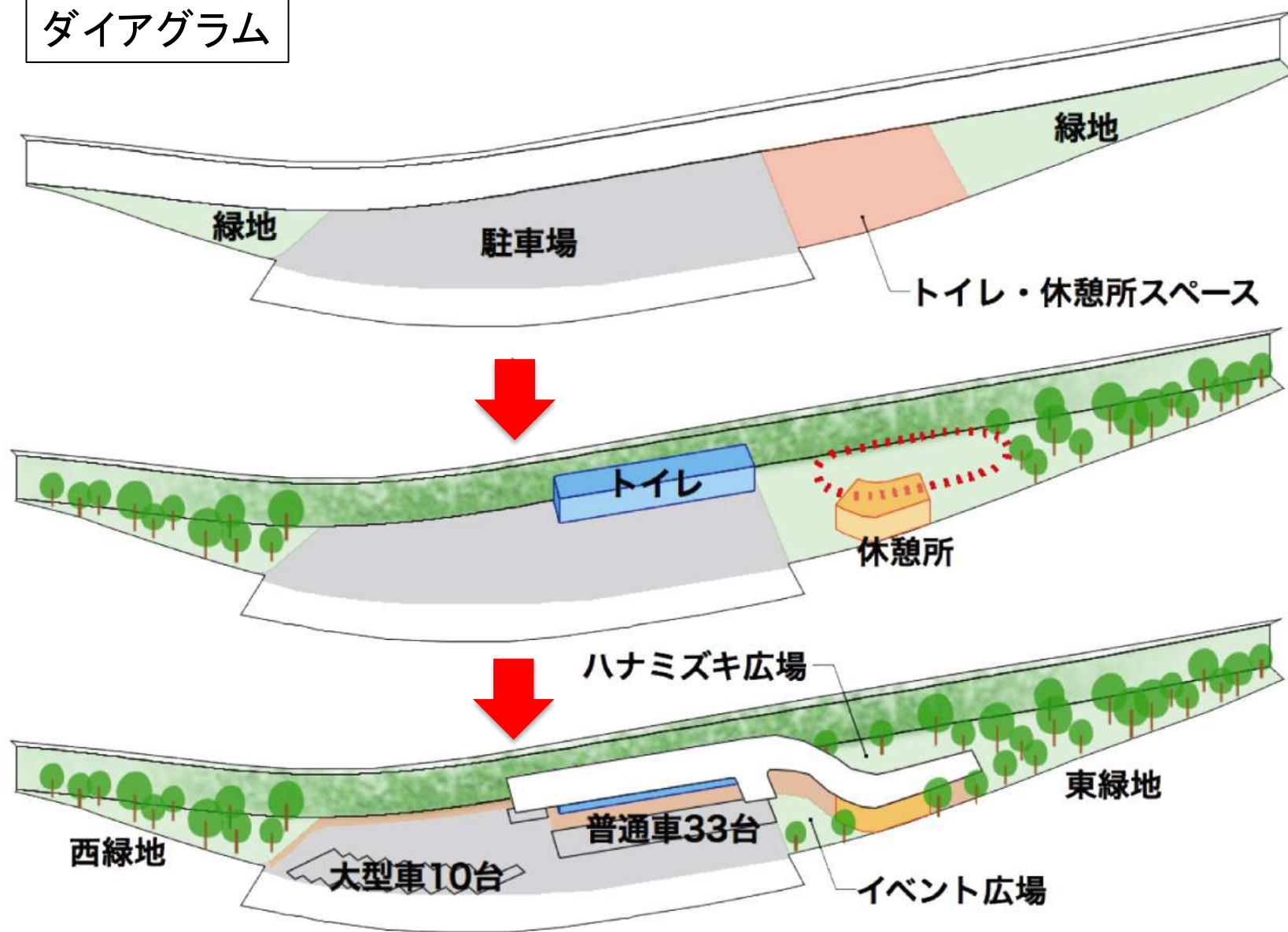




＜建築概要＞

名 称	尼崎パーキングエリア
所在地	兵庫県尼崎市南域内地先
敷地面積(㎡)	2,980.87
建築面積(㎡)	922.29
延べ面積(㎡)	736.5
構造／階数	S造／高架上1階
事業者	阪神高速道路(株)
施設管理者	阪神高速道路(株)監理本部 監理企画部 施設保全課
設計者	納谷建築設計事務所(株) yAt構造設計事務所合同会社 (有)ZO設計室 石井達弥光景デザイン (株)プラットデザイン
施工者	大日本土木(株)
竣工年月	2019年3月

ダイアグラム





3mの底空間が利用者を向かい入れます。底空間にはベンチを設け暑い陽射しから利用者を守ります。



トイレは開放的に、緑化したフェンスが全面に広がる様にしました。



160mの長い建築は高架上にあるため、エキ스パンションジョイントを4箇所またぐことになりました。



トイレのインテリアにも杉を使って内外の空間が連続する様にしました。個室でも緑を感じます。



外の休憩所には杉のカウンターを用意して、緑豊かな環境にしました。



連続する屋根をトイレと休憩所の間でクランクさせました。緩やかなカーブを描く屋根が利用者を休憩所へと導きます。



デッキテラスを設け、木々の周りにベンチとカウンターを設けました。クランクの底空間は日陰を作ります。



休憩室は2つに分かれていて、手前の休憩所にはカウンター席、奥の休憩室にはソファ席を用意しました。



休憩室の前には尼崎市の市木であるハナミズキを植え、「ハナミズキ広場」と名付けました。



休憩室のインテリアの壁には兵庫県産の杉を使い、間接照明で柔らかい空間を演出しました。



休憩室の先には、半屋外空間が延び、東側緑地の林へとつながります。



目指したのは単に用を足すだけのパーキングエリアではなく、利用者が安らぎ、気分をリセットできる公園のようなパーキングエリアです。



外壁は兵庫県産の杉を下見貼りにしています。利用者を木質空間が優しく包みます。



夕暮れ時です。緑化フェンスはアップライトで、緑を演出します。



24時間営業の尼崎パーキングエリアは、優しい光で利用者をもてなします。



夜のハナミズキ広場です。木々がライトアップされ、高架上のサービスエリアということを忘れさせます。



夜でも高速道路からライトアップされた木々が見え、高架上に公園のような緑が溢れます。



160mの長い建築は、夜でも高速道路から視認性の高いサービスエリアとなっています。



夜の尼崎パーキングエリアです。2019年に竣工して以来、24時間、365日、利用者の緑のオアシスとして整備され、綺麗に使われ続けています。

「尼崎パーキングエリア」～エピソード～

高速道路の高架上という特殊な環境下での計画です。

計画は平屋にして高架にかかる荷重を軽減し、土木の負担にならないようにしました。ただし、高架上に建築を載せるわけですから、土木の高架上で建築の床版がずれないようにケミカルアンカーを打ちましたが、建物の規模の割に約1600本も使用することになりました。

現場監理は、当然ながら車で乗り入れます。高架上は一般道より車のスピードが出ていますから、安全対策はもちろんのこと、私が驚いたのは高架上は思いの外振動が大きいことでした。交通を止めるわけにいきませんから24時間振動が続いています。そのためコンクリートの打設は、交通量の比較少ない時間帯を狙って作業しました。それでも、コンクリートが硬化する前に通常ではありえない程の小さなクラックがたくさん入り、補修工事に大きな手間と時間がかかりました。

「尼崎パーキングエリア」は、普段の建築とはまったく違う環境下での設計と現場監理となり、私の経験として大きな財産となりました。計画当初は、長い壁に落書きされるのではないかと、自動販売機が利用者から見えない、サインが遠い等、さまざまな懸念をされましたが、何よりも嬉しいのは、竣工して6年以上経ち壁面の緑が生い茂り、今だに綺麗に利用されていることです。